

外来新患診療体制表 平成22年3月現在

(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科		●	●	●	●	●
内科	血液内科	●	●	●	●	●
	循環器科	●		●	●	
	化学療法科	●		●		
呼吸器科		●	●	●	●	●
外科	乳腺科	●	●	●	●	
	外科	●	●	●		●
整形外科		●	●		●	●
脳神経外科		●		●		●
頭頸科(耳鼻いんこう科)		●	●		●	
形成外科			●			●
婦人科		●	●		●	
泌尿器科		●		●	●	
放射線科		●	●		●	●
緩和医療科				●		●

診療受付時間：午前8時30分～11時00分までをお願いします。
TEL (022)384-3151(代) FAX (022)381-1169

宮城県立がんセンターからのご案内

宮城県内の「がんに関する相談窓口」「セカンドオピニオン実施窓口」(病院一覧)検索手順の紹介

1 インターネットから宮城県立がんセンターと入力します

2 新着のお知らせ

宮城県内のがんに関する相談窓口(病院一覧)
宮城県内のセカンドオピニオン実施窓口(病院一覧)をクリックします

3 宮城県内のがんに関する相談窓口(病院一覧)

宮城県内のセカンドオピニオン実施窓口(病院一覧)が閲覧できます



交通案内

J 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
R 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用
桜 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用
南 仙台南インターからは、国道286号バイパス経由
交 県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)
通
自 家用車

地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

○ 受付 午前8時30分～午後5時15分
○ TEL (022) 384-3151(代) 内線115
○ FAX (022) 381-1169

宮城県立がんセンター

〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
電話(代表) (022)384-3151 FAX(総務班) (022)381-1168

□ゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。

地域医療連携室だより

Vol.10

平成22年3月発行 地域医療連携室

宮城県立がんセンター



がん地域医療連携に向けて

地域医療連携室長
副院長



片倉 隆一

「がん対策基本法」

平成18年「がん対策基本法」、さらに同法の規定に基づく「がん対策推進基本計画」(平成19年6月閣議決定)が作成され、がん均てん化の推進拠点としてがん診療連携拠点病院が指定されました。

がん診療連携拠点病院

その指定要件は、1. 診療体制、2. 研修の実施体制、3. 情報の収集提供体制をそれぞれ整備することです。

まず1. 診療体制は、集学的・標準的治療等の提供、化学療法法の提供、緩和ケアの提供、病病連携・病診連携の協力体制、セカンドオピニオンの提示体制、という体制整備を行うこと、またその実行のための専門的知識を持つ医師・コメディカルスタッフの配置及び医療機器や治療室の整備、さらには敷地内禁煙が求められています。3. 情報の収集提供体制では、相談支援センターの整備や院内がん登録の充実などが求められています。

地域連携クリティカルパス

このなかで、診療体制の整備に関しいくつか進行中のものがあります。そのひとつが病病連携・病診連携の協力体制に関わるもので、国から5大がん(胃がん、大腸がん、肝臓がん、肺がん、乳がん)についての地域連携クリティカルパスを平成23年10月までに整備することが求められています。

現在東北大学泌尿器科荒井先生と宮城県立がんセンター外科の藤谷先生が中心となり、パスの作成に向け検討に入っております。今後、各がん診療連携拠点病院などを介して先生方の医療機関にもご協力をお願いがあると思いますが、その節には宜しくお願ひ申し上げます。

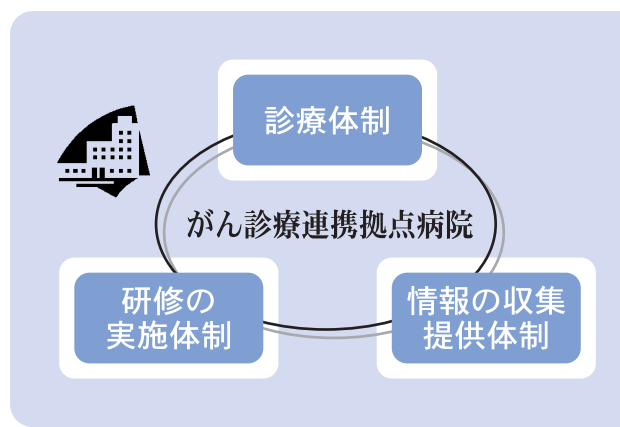
セカンドオピニオンの提示体制

一方セカンドオピニオンの提示体制については、先日NHKなどテレビニュースで紹介されましたが、県内の医療機関へのアンケート調査の結果、セカンドオピニオンを受け付けている医療機関名と対応可能な診療科や費用など詳しい情報がホームページ上で見られるようになりました。是非、ご利用いただければと思います。

今回の連携便りは、当センターの放射線部を紹介させていただきました。

当センターでは、がんの専門スタッフの充実と併行し、医療機器の整備も着々と進んでおります。

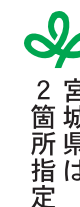
皆様方から安心してがん患者さんをご紹介していただけるよう努力をしておりますので、今後ともご協力いただきますよう宜しくお願ひ申し上げます。



がん診療連携拠点病院の指定要件

都道府県がん診療連携拠点病院に再認定

平成21年度は、このがん診療連携拠点病院の見直しが行われ、その結果宮城県立がんセンターは、従来同様東北大学病院とともに都道府県がん診療連携拠点病院(各県1つが原則)に再認定されました。



2 宮城県指定

- 青森県 青森県立中央病院
- 岩手県 岩手医科大学附属病院
- 宮城県 宮城県立がんセンター
- 宮城県 東北大学病院
- 秋田県 秋田大学医学部附属病院
- 山形県 山形県立中央病院
- 福島県 福島県立医科大学附属病院

東北の都道府県がん診療連携拠点病院



診療科紹介

放射線診断科

医療部長
松本 恒

2月から、高磁場(3T)MRIが新たに導入し(2台目)、これまで従来から使用していた1.5TMRI装置に加えMRI診断が強化されました。

MR I から新たな生体情報

今日、MRIは脳神経、脊椎・脊髄のみならず、腹部領域、整形外科領域でも広く利用されており、放射線診断には不可欠の診断装置となっています。

今回導入しました3TMRI装置では従来描出することが困難であった脳神経線維束の画像化(Tractography)や生体内代謝産物の測定(Spectroscopy)をはじめ腹部、関節、軟部組織などについても高品位画像が得られます。

ワークステーションの充実

当センターではX線CTにおいても高品位(64多列検出器)機種を備えており、放射線診断業務のもう一つの中心となっています。CTから得られた薄層画像を様々な様態に加工するワークステーションも最新鋭のコンピュータシステムにより制御されており、正確な診断に寄与することはもちろん、所見の理解を容易にする三次元画像も速やかに作成され診療に供されています。

地域の中の放射線診断

これら二種類の放射線診断装置は当センター一癌診療において大きな位置を占めておりますが、放射線診断科は「地域医療連携」という枠組みの中で各医療機関の先生方のお役に立ちたいとも考えております。

それが「地域の中の放射線診断」です。

ご存じのように高機能放射線機器は高額な初期投資、また維持費用が必要であり、一医療圏での設置数はおのずから限られております。

そこで、これらの高額医療機器を医療経済的に有効に活用することが望まれるところです。幸い当センター放射線診断機器は宮城県内の先生方にもご利用いただいておりますが、今後ともより一層のご期待に沿えますようご利用の便を図りたいと存じます。

なお、当センターにはこれら以外にも各種放射線機器を備えております。どうぞ放射線診断科にもお気軽にご相談いただければ幸いです。

がん
征
圧
に
向
け
て

therapy 治療

放射線

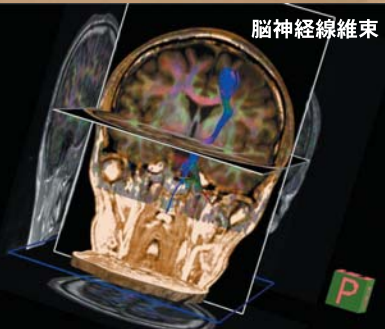
Radiation

診断 diagnosis

シーメンス マグネトム VERIO



脳神経線維束



新機種導入



Varian CLINAC IX

位置精度向上、短時間照射へ

新規に導入したバリアン社製Clinac ixでは治療に使う高エネルギーX線照射装置のほかに、照射部位の照合などに使う診断用X線装置が搭載されています。

従来は高エネルギーX線のリニアックグラフィと照射計画用CTから再構成した画像を見比べて照射位置の確認をしていましたが、これからはリニアックからの診断用X線画像と再構成画像を治療装置のコンソールで合わせ込んで照射することができます。特に頭蓋や脊椎など骨の位置で合わせられる病変は以前よりも格段に高い精度で照射できるようになっています。

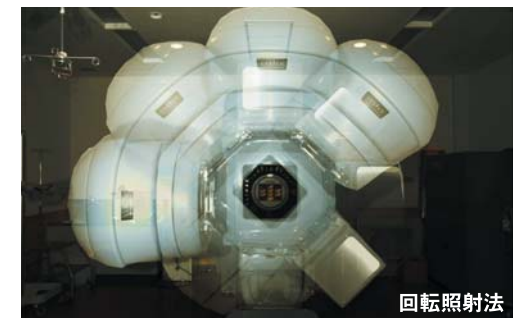
放射線治療の適応について

まず病期の評価(staging) や手術、化学療法など他の治療手段との組み合わせなどについて検討することが必要です。

放射線治療の適応となるのではないかとと思われる場合、まずその疾患を扱っている当該科にご紹介いただいたほうが円滑に治療が行われるものと思われますので、ご高配宜しく御願いたします。

認定医が対応します

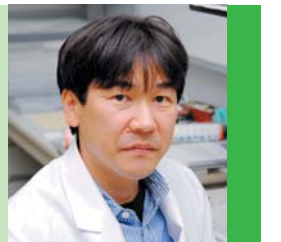
また、放射線治療学会認定医二名を含んだ3人体制で診療を行っており、現時点ではマンパワーにも恵まれた環境にあります。がんセンターということで、小児を除いて悪性腫瘍のほとんどに対処できるようになっており、放射線治療が行われる疾患も幅広く、多くの経験が積める状態にあります。



回転照射法

診療科紹介

放射線治療科



医療部長
松下 晴雄

昨年12月、放射線治療装置(リニアック)の更新をおこない最新型の装置を導入しました。これで、2台のリニアック装置が、フル稼働でき、多くの患者さんへの放射線治療が可能になりました。